



### 一流国家を目指しましょう

お陰様で、事務所通信「向日葵だより」は、今回で第 200 号を迎えることができました。皆様から好評価をいただいておりますこと、誠に光栄に存じております。引き続きまして、よろしくお願い申し上げます。

さて、韓国のフェリー沈没事故を受け、船が日本製であったこと、多くの修学旅行生が犠牲になったこともあり、（修学旅行という文化は、日本統治時代に持ち込まれたとの解釈から）事故の責任を我が国に転嫁してくるのではと危惧されました。しかし、すぐに船長や船会社のあまりに酷い実態が判明し、事故は、韓国側が安全管理を怠って起こした人災であることが明らかになってきました。今では「反日」一色だった韓国マスコミも、「日本に学べ」「韓国は三流国家」などと自虐報道も目立つようになってきました。（中央日報・朝鮮日報という韓国の代表紙の社説でさえも）▲「血のつながりを重視する韓国には“公”より“孝”、すなわち社会よりも家族を優先する文化があり、その結果、社会的な責任感が薄くなって利己主義に陥りがち。船長が沈みゆく船からいち早く逃げたのも、利己主義が原因でしょう」（韓国出身の呉善花拓殖大学教授の談話）



そんな中、週刊新潮に連載されている写真コラム「藤原正彦の管見妄語(かんけんもうご)」の“西欧の壮大な失敗”が目にとまりました。(5月1日号)(藤原正彦氏は、数学者・御茶ノ水女子大学名誉教授で、作家の新田次郎氏・藤原ていさんの次男、エッセイストとしても知られています)コラムの要旨は次の通りです。東北復興や東京オリンピックがらみで1万5千人ほどの外国人労働者の受け入れ拡大を政府が決めた。いずれ介護、農業、家事等と次々に拡げる方針らしい。人数によっては少子高齢化による経済規模縮小のスピードを多少とも緩やかにするだろう。公共投資を行う政府にとっては確実に経費削減につながる。他方、デメリットは、低賃金のままなら国内の非熟練労働者の職をいずれ奪うことになるし、人権上の見地から移民に対する労働条件や社会保障を整えようとするれば、日本語のできない子供たちの学校問題などもあり、財政負担が問題となってくる。実はそれ以上に、社会的混乱も心配だ。西欧各国は戦後(労働力不足、その後は人道の名のもと)移民を大量に受け入れたが、「これまでの移民政策は誤り」「日本はよくよく慎重に考えた方がよい」とメルケル独首相はじめ各国首脳が言う。我が国には現在2百60万人の完全失業者、1千9百万人の非正規雇用者がいる。正規採用と適正な賃金さえ約束されれば、若者を中心に多くが喜んでどんな職種へも向かうだろう。そして、安心して結婚し子育てに取り組めるから、少子化にもブレーキがかかるはずである。「移民問題」を財界主導の経費削減対策としてとらえてはならない。政府や財界は、ここ十数年間が示すように、弱者を追いこみ、雇用を壊すことでデフレ不況や少子化を推進したばかりか、社会をもズタズタにしてきた現実を自省すべきである!

以上のような意見もある中で、私はある程度の移民受け入れはやむを得ない流れと考えます。伝統文化や地域性が損なわれるという指摘もありますが、若者の内向き志向を外へと是正したり、過疎地域の活性化につながるようにも思えます。それにはよほどの覚悟と準備が必要で、日本が「**一流国家**」として認められるか否かの試金石となるでしょう。



# おかげ様で向日葵だより200号達成!



「向日葵だより」は今月号で**200号**を迎えることが出来ました。「事務所通信」としてスタートした「向日葵だより」は、お客様に事務所のことをもっと知ってもらいたい!との思いから、旬な税務情報や所長のコラム記事も加えて発信してまいりました。創刊号からのあゆみと当時の出来事をここで振り返ってみたいと思います。

★向日葵だより(旧:事務所通信)の遍歴			当時の出来事
'97.10	創刊号	A4サイズ1枚にワープロ打ちと手書きでFAX送信	・消費税5%がスタート ・悲願のサッカーW杯出場決定
'01.05	第44号	手書きから全てパソコン入力へ	・アメリカ同時多発テロ事件 ・日本の皇室にて愛子内親王誕生
'02.05	第56号	「事務所通信」から「向日葵だより」へ名称変更 (タイトル変更のご案内に多数の応募をいただきました)	・初の日朝首脳会談で北朝鮮が拉致を認め謝罪/5人が24年ぶりに帰国 ・サッカーW杯日韓大会開催
'04.07	第82号	「せっかくきれいな原稿をFAXではもったいない」 との光栄なお言葉をいただき、カラー原稿をメール便でのお届けに変更	・日本で新紙幣発行
'06.01	第100号	おかげ様で100号達成!!	・65歳以上の高齢者人口が20%突破 ・全都道府県で地デジ放送開始
'11.03	第168号	東日本大震災被災地支援活動の記事掲載	・東日本大震災
'13.07	第190号	経営計画書作成実践セミナー開催150回 達成の記事掲載	・2020年五輪の開催地が東京に決定 ・伊勢神宮で20年に一度の式年遷宮
'14.05	第200号	<b>16年8ヶ月で200号達成!!</b>	・消費税8%がスタート

創刊以来、公認会計士と税理士が1ヶ月交替のペースで「コラム」を載せさせていただき、税務や会社法の改正等の解説やトピック記事をご紹介いたしました。

更に、お客様にも「経営計画書作成実践セミナー」(’98年9月スタート)の受講感想文や「企業紹介」「経営方針」の寄稿をいただき、一段と充実したものとなってきました。

これからも、楽しみに毎月待っていただける向日葵だよりを目指し、精進してまいります。

ご意見、ご要望などございましたら、ご遠慮なく御一報いただければ幸いです。



クライアントリレーションチーム一同

## ◎ 随時開催します(ご案内) ◎

1. 相続対策生前贈与の個別相談
2. A-SaaS(財務ソフト)の入力・設定の仕方
3. 決算書(試算表)の見方
4. 経理担当者向けの簿記講座・日々の会計記録の仕方

少人数の勉強会です。

お気軽に担当者までお声をお掛けください



元氣倶楽部

## @5月の予定

- 5/12・4月分源泉所得税
  - ・住民税の特別徴収税額納付期限
- 6/2・3月決算法人の確定申告
  - ・6,9,12月決算の消費税及び地方消費税の中間申告

《休業日》土曜・日曜・祝日

黒沼共同会計事務所 検索

